

Ludwig van Beethoven

## 「ベートーヴェンの森」公開講座



# ベートーヴェンってどんな音楽?

ベートーヴェンの音楽をもっと深く味わうお話

### 第2弾

神戸市室内管弦楽団では、全交響曲・協奏曲を演奏する「ベートーヴェンの森」を開催します。1月11日の「ベートーヴェンの森」第1回公演を前に、「ベートーヴェン研究者」中村教授のお話で、より深くベートーヴェン音楽を味わってみませんか。

日時・ところ

2019年

12月25日(水)

【午前の部】 11:00～12:30  
西区民センター  
多目的ホール(1階)

【午後の部】 15:00～16:30  
東灘区民センター  
多目的ホール(9階)

講師

中村 孝義 (大阪音楽大学名誉教授)

受講料

500円

※ベートーヴェンの森の公演チケットをお持ちの方は無料で受講できます。  
※講座当日に限り、ベートーヴェンの森のチケットを500円引きで販売します。  
※定員(西区民センター:先着30名、東灘区民センター:先着80名)に達した場合は募集を締め切ります。  
※事前申込が必要です。  
※演奏はありません。

お申込み方法

各会場にお電話もしくは受付にてお申込みください。

申込受付開始日:10月25日(金)より

お申込み・お問合せ先

西区民センター 078-991-8321

東灘区民センター 078-822-8333

主催

(公財)神戸市民文化振興財団

## ベートーヴェンの交響曲は、 いかにして西洋音楽における 金字塔となったのか。

交響曲という曲種が完成されたのは18世紀後半。それ以来20世紀に至るまで、交響曲は西洋クラシック音楽の中核的存在として重きをなしてきました。なかでもベートーヴェンの交響曲は、彼以前に、また彼以後に作られた数えきれないほどの交響曲すべてを圧して、交響曲の理想形を実現し、抜きがたい規範性が備わっているとされます。いったい彼の交響曲のどこが理想的で、どのように規範性を備えているのでしょうか。この講座では、彼の交響曲がいかにして西洋音楽における金字塔となったのかを、彼の交響曲第5番「運命」を中心に解き明かしていきたいと思ひます。

中村 孝義

Takayoshi Nakamura

1985年ドイツ・ヴェルツブルク大学音楽学研究所客員研究員。1991年大阪音楽大学教授。2006年大阪音楽大学学長。現在は理事長、名誉教授、ザ・カレッジオペラハウス館長。文化審議会委員、文化庁芸術祭審査委員長、日本芸術文化振興会評価委員などを歴任。現在も多くの公益財団の理事や評議員、(独法)日本芸術文化振興会基金運営委員会委員長を務める。ベートーヴェンや室内楽を中心とする音楽学研究的のほか、オペラ活動やアーツ・マネジメントにも関心を寄せ、新聞、雑誌などで評論活動も展開。主要著書に「室内楽の歴史」(ミュージック・ペンクラブ賞新人賞受賞:東京書籍)「ベートーヴェン器楽・室内楽の宇宙」(春秋社)「音楽の恋」(カワイ出版)などがある。



生誕250年ベートーヴェン・チクルス  
ベートーヴェンの森  
第1回

2019年1月11日(土)15:00開演(14:30開場) 神戸文化ホール 中ホール

チケット価格 [全席指定] S席 4,000円 A席 3,000円 U25(25歳以下) 1,000円

曲目 交響曲 第4番 変ロ長調 作品60 ※セット券の販売もあり(11月15日(金)まで)  
ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73『皇帝』 交響曲 第5番 ハ短調 作品67『運命』

チケット発売場所 神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349

チケットぴあ TEL.0570-02-9999 [Pコード:157-636]

ローソンチケット TEL.0570-084-005 [Lコード:54559]

神戸国際会館プレイガイド TEL.078-230-3300

詳しくはホームページでご確認ください。<http://kobe-ensou.jp>

指揮:リュウディガー・ポーン  
ピアノ:エリソ・ヴィルサラゼ  
管弦楽:神戸市室内管弦楽団